

第4回青森市統合新病院整備場所等検討会議 議事要旨

○日時 令和6年7月23日(火) 15時00分～16時40分

○場所 青森市役所本庁舎2階 庁議室

○出席構成員(7名)

青森公立大学経営経済学部 足達准教授、青森商工会議所 葛西専務理事、
青森県建築士会 工藤副会長、青森県不動産鑑定士協会 最上監事、
青森市医師会 北畠会長、青森地域広域事務組合 村上消防長、
青森市病院運営審議会 原子前委員

○欠席構成員(5名)

青森市浪岡商工会 一戸会長、国立病院機構本部DMAT事務局 近藤次長、
青森市農業委員会 福士会長、青森県立保健大学健康科学部 三好准教授、
青森市町会連合会 佐々木会長、

○案件

(1) 県からの提案内容について

(2) 今後の検討方法について

(1) 県からの提案内容について

【青森市統合新病院整備場所等検討会議が開催されることとなった経緯】

(足達座長)

- ・初めに本会議が開催されることになった経緯について説明させていただく。5月26日開催の有識者会議において、整備場所等検討会議の検討概要等が報告され御意見をいただいたところ、新たな検討対象地として外環状線周辺エリアに公有地がないか検討するように求められた。この御意見を受け、県で検討を進め、7月21日開催の有識者会議において、外環状線周辺エリアで新たに検討対象となりうる場所の提案があったことから、本会議を開催しその提案について検討を行うものである。

【県からの提案内容】

(奈良市民病院事務局長)

- ・案件に入る前に御説明させていただく。市でこれから説明させていただく資料は、7月21日開催の有識者会議において、県からの提案として示された資料である。今回の提案内容については、記載内容に係る根拠等について現在も県と確認を行っている最中であり、現段階で提案内容に同意しているものではないが、市としても検討を進めていく

必要があることから本会議を開催することとした。本日の会議での御質問等も踏まえ、次回以降の会議で皆様から御意見をいただいた上で、その結果を有識者会議へ報告させていただきたいと考えている。

(今市民病院事務局次長)

- ・ 県提案内容の説明に当たり県に会議への出席を依頼したが欠席するとのことであったので、資料は市から説明させていただく。ただ、市としてこの提案を説明するとなると違う意味合いで伝わることもあることから、可能な限り先日の有識者会議で県が説明した内容をそのままお伝えする。

【県からの提案内容に対する意見等】

(原子前委員)

- ・ 県営スケート場一帯案を聞いて、現在利用している県営スケート場などはどうなるのか、移転先はどこになるのかという疑問や心配がある。市営バスについて、この周辺は便数は少ないものの利便性は良い。また、県営スケート場付近の道路は狭く、冬場に雪が積もると渋滞が発生するため、道路幅を広げるなど工夫してほしい。
- ・ セントラルパークの新駅設置について、予算や時間は掛かると思うが青い森鉄道との話し合いはどうなっているのか。

(櫻田都市整備部次長)

- ・ 青い森鉄道は電車と線路の管理を分ける上下分離方式となっており線路や駅は県が管理・所有している。このため、新駅設置に係る協議は青い森鉄道ではなく県の担当部署と協議を進めているところ。
- ・ 県の担当部署からは今すぐ設置するとの回答はいただいているが、市では統合新病院の整備場所として挙げられる以前から新駅設置を要望してきている。なお、令和2年11月1日から県と勉強会を開催し問題点や課題等を整理している状況であり、今後も検討を進めることとしている。

(工藤副会長)

- ・ 県から提案のあった浜田中央公園・県営スケート場周辺案に対し市は了承しているのか確認したい。市として反対しているのであれば、何も検討会議を開催する必要はないのではないか。
- ・ 今回の提案内容について、市から県に対し確認している旨報道されている。詳らかにできるものとはできないものがあると思うが、市ではどのような確認をし、県からどのような回答が返ってきたのか、お示しいただきたい。

(今市民病院事務局次長)

- ・我々としても、提案された記載内容を理解できていない部分も多々あることから、県に対し、浜田中央公園やサンドームの移転先や代替手段はどのように考えるべきなのか、記載されている内容はどういう意味なのかなど確認をしているところ。現時点で、この提案に対し同意していないから案として駄目というわけではなく、まずは県の案として検討を進めていただきたいと考えている。

(村上消防長)

- ・先日開催された有識者会議において、消防本部の立場から意見した2点について紹介させていただく。
- ・県提案資料5頁にメリットとして記載の「(浜田中央公園・県営スケート場周辺は)片側2車線の幹線道路(国道7号)に面していることから、渋滞時の救急車両の走行に柔軟に対応可能(車道拡幅などの対策も不要)」について、仮に環状7号バイパス側に救急車の入口を設けた場合はデメリットもある旨意見した。

その内容については、救急搬送の際、環状7号バイパスを浅虫側から進行してきたとき、交差点を右折して新城側からの走行車線2車線を横断して候補地に進行することとなるが、赤信号で交差点を通過する際には、高速道路の高架下という構造上の問題もあり、新城方面からの走行車両をほぼ確認できない状況で進入していかなければならず非常に危険な状況の中での走行となる。

これについては、環状7号線では令和3年から令和5年の3年間で164件の交通事故による救急出動があり、そのほとんどが交差点の周辺で発生している。また、一般車両がある程度スピードを出して走行している状況から、条件がそろってしまえば搬送中の傷病者を巻き込んだ大事故に繋がる可能性があり、非常に事故の可能性が高い心配されるところである。過去にも環状7号バイパスの交差点付近において、救急車の事故が数件発生している状況からみても、見通しのきかない交差点における赤信号での2車線横断が必須となる状況は事故リスクの高い非常に走行に神経を使うものであり、この点についてデメリットに加えてほしい旨意見した。

- ・また、7頁の「救急車搬送時の騒音公害」との記載について、救急車のサイレンは、通常の音量での運用の他に住宅モードや弱モードがあり、時間帯、地域特性に応じてスイッチを切り替えて走行することとしており、これにより騒音はある程度緩和されるものと考えている旨意見した。

(足達座長)

- ・県提案資料9頁（青い森セントラルパークの交通量分析結果）の混雑度比較はシミュレーションの結果であると思う。前提条件によっては全く違う結果が出ることもあり、どういう条件でシミュレーションを行ったらこういう結果が出たのかという前提条件を詳しく説明していただきたい。
- ・また、混雑度の数値が示されているが、この数値がどの程度の混雑なのか、認識を統一したいと考えることから、その度合いを示していただきたい。

（最上監事）

- ・整備場所の検討に当たっては、有効活用されていない公有地を検討の対象とし、確認の結果、最後に残ったのが「青い森セントラルパーク」、「旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地」、「青森県総合運動公園」の3か所であった。
今回の提案内容は現在活用中の施設であり、何の手続きもなく議題に上がってくことにすごく違和感を覚える。この案を上げてくるのであれば、もう一度有効活用されている公有地の検討から始めないといけないのではないか。
- ・今回の提案は県営スケート場・サンドーム・浜田中央公園の移転を前提としているが、移転先がどこか分からないが、施設の解体や移転に当たっての用地取得を考えるのであれば、新たに民有地を取得して、そこに病院を建設する方法は駄目なのか。民有地に関しては、取得期間が不透明であることや新たに取得費用が必要となることからその取得は難しい旨の説明があったが、今回提案の予算規模をみても、八甲田大橋の架け替えや県営スケート場の整備など大きな事業費が必要になっている。そうなった場合、やはり素直に使われていない民有地の中から一番良いところを選ぶやり方もあるのではないか。最初から青い森セントラルパークと浜田中央公園・県営スケート場周辺の2択で意見を聴取するというのは、何か違うのかなと思う。
- ・経費比較について、県営スケート場やサンドームの解体費は少ないように感じる。この根拠はどうなっているのか示してほしい。
- ・県営スケート場などの整備については、建築費なのか、移転に係る用地取得なのかその内訳が分からない。予算については詳細な資料が必要と考えている。

（北畠会長）

- ・有識者会議において、外環状線周辺エリアに公有地がないか求められた際、市では、それほど時間を置かずに対象地がない旨の発表をしたとの報道があり、初めから検討していたのかなと思っていた。
- ・今回の提案内容は本当に唐突であり全く知らなかった。私は有識者会議のメンバーでもあるが、全く情報がなく、いきなり報道で知ることとなった。

- ・医療機関側の代表として言わせてもらおうと救急車の騒音については大変だと思う。いろいろなモードがあり状況に応じて対応していると思うが、救急車がサイレンを鳴らして周辺が騒がしくなる事例もある。救急隊で配慮しているとは思いますが問題になるのかなと感じている。
- ・ドクターヘリについては、住民からの反対で導入できなかった事例もあり、住民説明は大事だと考える。
- ・敷地の広さについて、参考資料3の7頁（主な病院の敷地建物概要）に700床から800床の病院として、東京都立駒込病院や大垣市民病院などが掲載されているが、これらの病院はいずれも電車やバスといった公共交通の便が良く雪が降らない。そのことを考えると、青い森セントラルパークも浜田中央公園・県営スケート場周辺もこの広さだと大変なのではないか。
- ・セントラルパークへの新駅設置には賛成であるが、参考資料3の2頁に記載の通院における電車の利用状況や青い森鉄道の便数を考えると鉄道がメインにはならないのではないかと感じている。

（今市民病院事務局次長）

- ・まず、外環状線周辺エリアに適切な場所がないことをそれほどの時間を置かずに回答したことについては、整備場所の検討対象地選定に当たり、市と県が所有する3万平方メートルの公有地を抽出し、各部署に問い合わせの上、未利用又は廃止予定の土地をピックアップし、3か所の検討対象地とした経緯がある。そういう経緯があり、3か所以外に利用可能な公有地はないという判断が早めにできたと考えている。
- ・最終的にどこが候補地になっても、候補地になった場合には、議会への説明のほかに、その周辺住民に対する説明も検討していくべきと考えている。

（葛西専務理事）

- ・これまで、この検討会議では相当なデータや情報を整理して多角的に議論した経緯があるが、今回の提案内容は唐突感があり客観的なデータや情報が少ないと感じている。市も相当、県に質問しているとのことであるので、次回会議では可能な範囲でその内容を提示していただきたい。

（足達座長）

- ・県提案資料は文章が多い。これに関しては、数値や事実関係をはっきりさせられるような形で補っていただきたい。
- ・公共施設の場合は、施設利用者や周辺住民に対して理解を得るステップが必要であり、そのための時間やコストが掛かると考える。今回の提案内容には、その辺りがどの程度

考慮されているのか知りたいところ。その辺りを考えることで、すぐ建てられる土地なのかどうか条件が変わってくるように感じる。

- ・今回の提案内容については、既に市から多数の事項を確認しているとのことであるが、その内容について、可能な限り、お知らせいただきたい。

(工藤副会長)

- ・県提案資料12頁（経費比較）について、新駅・自由通路の事業費が100億円以上としているが、自由通路は人だけが通るイメージなのかどうか、その内容を教えていただきたい。
- ・セントラルパークに統合新病院が整備された場合は、交通アクセスは非常に問題があるので、南北の車両動線を確保した方がよく、それにより八甲田大橋からのアクセス対策は不要になると考える。
- ・土地の形状をみたとき、青い森セントラルパークは三角形であるのに対し、浜田中央公園・県営スケート場周辺は真ん中が絞られたような形となっている。仮にここに病院を設計するとなると、どのように設計なのか、少しやりづらいつと感じた。土地の形は整形の方がお金は掛からないと思う。

(足達座長)

- ・都市計画上セントラルパークは都市機能誘導区域に位置付けられているが、市としてセントラルパーク周辺を今後こういう風にしていきたいという具体的なイメージがあれば教えていただきたい。
- ・県提案資料5頁にデメリットとして「新駅・自由通路の設置は、かなりの経費と時間を要する。」とある。確かに、莫大な費用は必要となるが、新駅の設置は病院のためだけではなく、周辺のかかなり広いエリアにとって便益になると考えており、デメリットと言っていいのかどうか疑問である。

(今市民病院事務局次長)

- ・県への確認事項については、可能な限り次の会議に向けて提示するよう調整する。

(2) 今後の検討方法について

(村上消防長)

- ・県提案資料8頁（浸水状況の比較）について、浜田中央公園は貯水機能を有している公園であり、ここに建物が建ってしまえば浸水域が変動するのではないかと考えるが、その点確認したい。

(最上監事)

- ・今回の提案を受け、民地を買収する案はないのかといったことや更なる案が提案されることはないのかといったことが考えられる。検討の前提条件として、この2案に絞られてしまうのかということを確認したい。
- ・県提案資料12頁(経費比較)について、県営スケート場の渋滞対策に関する経費が全く計上されていない。バス路線の整備に当たっては、県営スケート場東側がバス通りになると思うがその拡張は必要ないと考えているのか。また、電柱の地中化に係る経費についてはセントラルパークに含まれているが、県営スケート場に含まれていない根拠を教えてください。

(今市民病院事務局次長)

- ・有識者会議では、セントラルパークの全てが否定されたわけではなく、より良い案がないか改めて検討するよう指示があり、その中で、今回、県が様々検討した結果として、新たな案を提案している状況である。その新たな案を含めた検討として整備場所等検討会議を開催しているので、状況とすれば新たな提案とそれ以外の案を検討することが有識者会議との連携の中では正しいあり方であると考えている。

(葛西専務理事)

- ・統合新病院は県立中央病院の役割と同時に青森市民病院の位置付けもある。市民全体のベネフィット(便益)を考慮する必要があることから、両病院に通う患者さんがどのエリアからどの程度来ているのかというデータを提示してほしい。

(工藤副会長)

- ・統合新病院はいつ頃の完成を目標にしているのか。また、この会議はいつまでに結論を出すこととしているのか。会議を行うにしても、ある程度の目標がないといつまでもまとまらないのではないのか。今後のスケジュールを教えてください。
- ・併せて、国民スポーツ大会の開催時期についても教えてください。

(奈良市民病院事務局長)

- ・開院時期については、「共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項」において、目標という形ではあるが、令和12年3月頃を目途としている。また、整備場所の決定時期について、県では8月中にという話であるが、ただ浜田中央公園やサンドームは市民も使用している施設であり、拙速な議論になってもいけないと考えている。そこを目標としつつも、そこに向けて丁寧に会議を開催する必要がある。

- ・国民スポーツ大会は令和8年10月の開催となっており、その会場として県営スケート場等も入っている。